

しもかり や だいねんぶつけんばい
下刈屋大念佛剣舞

- ◇ 指定日 平成8年4月15日
- ◇ 所在地 刈屋
- ◇ 保持団体 下刈屋大念佛剣舞保存会

今から約200年ほど前に刈屋地区の高鼻家と夏屋家の先祖が伝えたのが始まりといわれています。また、川井村から伝えられたという話もありますが、詳細は不明です。

剣舞を踊る前に新発意^{しんぱち}という役が述べる口上^{かどわか}で、人買い商人に拐^{かどわか}されて隅田川^{うみだがわ}のほとりで病死^{びじ}した梅若丸^{うめわが丸}を弔^{なぐさ}うために、人々が集まって大念佛^{だいねんぶつ}を催した回向踊り^{えこう}が剣舞の始まりといわれています。

盆には、庭元である高鼻家と夏屋家、高昌院^{こうしょういん}で回向を行い、15日に地区で供養の踊りを行っています。8人の踊り手が長刀・太刀・綾・扇を演目によって持ちかえ、鉢巻や鳥兜をかぶります。太鼓と笛の両脇に太鼓と水桶を模したキリコが立ちます。

演目…大念仏・高館・庭ならし・山の神くづし・扇剣舞・太刀剣舞・綾踊り・城まわし

